

# 瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

2026年 3月 13日

申請者の住所及び氏名（法人にあっては所在地、名称、代表者名）

住所 東京都港区浜松町2丁目3番1号

氏名 オリックス不動産株式会社

代表取締役 北村 達也

工場又は事業場の所在地及び名称

所在地 別府市大字南立石2272番地

名称 別府温泉 杉乃井ホテル

## 1 許可申請書の概要

### (1) 特定施設設置(変更) の理由及び内容

66-3 旅館業 ハ 入浴施設に該当する、在来浴槽（コンクリート製）5基を新設します。

※在来浴槽は、防水を有しコンクリート・モルタル・タイルなどを用いて一から作り上げる浴槽

### (2) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少（変らず） の場合はその理由

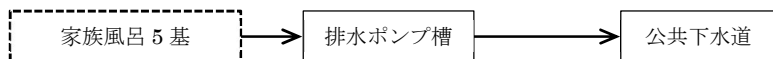
家族風呂5基の排水は公共下水へ接続するため、排水口における排出水の量・水質には変わりはない。

## 2 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

### (1) 別図のとおり

### (2) 排水系統及び排水経路の略図

(略図)



3 工場・事業場の各排水口における排水の汚染状態の通常値及び最大値、当該排水の1日当たりの通常値及び最大値並びに当該排水の汚濁負荷量

排水口	区分 項目	現 状				設置(変更)後				負荷量・水量 の増減	
		水量・水質		負 荷 量		水量・水質		負 荷 量		通常	最大
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
No.3	排水量(m <sup>3</sup> /日)	102	145			102	145			0	0
	pH	5.9~8.5	5.8~8.6			5.9~8.5	5.8~8.6				
	BOD(mg/L)	-	-			-	-				
	COD(mg/L)	-	-			-	-				
	S S(mg/L)	-	-			-	-				
	T-N(mg/L)	-	-			-	-				
	T-P(mg/L)	-	-			-	-				
No.5	排水量(m <sup>3</sup> /日)	1636	2552			1636	2552			0	0
	pH	5.9~8.5	5.8~8.6			5.9~8.5	5.8~8.6				
	BOD(mg/L)	20以下	30以下	32.75	51.04	20以下	30以下	32.75	51.04	0	0
	COD(mg/L)	20以下	30以下	32.72	51.04	20以下	30以下	32.72	51.04	0	0
	S S(mg/L)	20以下	30以下	32.72	51.04	20以下	30以下	32.72	51.04	0	0
	T-N(mg/L)	15以下	10以下	24.54	38.28	15以下	10以下	24.54	38.28	0	0
	T-P(mg/L)	5以下		8.18	12.76	5以下		8.18	12.76	0	0
No.6	排水量(m <sup>3</sup> /日)	410	520			410	520			0	0
	pH	5.9~8.5	5.8~8.6			5.9~8.5	5.8~8.6				
	BOD(mg/L)	20以下	30以下	8.2	10.4	20以下	30以下	8.2	10.4	0	0
	COD(mg/L)	20以下	30以下	8.2	10.4	20以下	30以下	8.2	10.4	0	0
	S S(mg/L)	20以下	30以下	8.2	10.4	20以下	30以下	8.2	10.4	0	0
	T-N(mg/L)	15以下	30以下	6.15	7.8	15以下	30以下	6.15	7.8	0	0
	T-P(mg/L)	5以下	10以下	2.05	2.6	5以下	10以下	2.05	2.6	0	0

※最大負荷量(kg/日)=最大排水量(m<sup>3</sup>/日)×通常水質(mg/L)×10<sup>-3</sup>

通常負荷量(kg/日)=通常排水量(m<sup>3</sup>/日)×通常水質(mg/L)×10<sup>-3</sup>

4 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003 mg/L以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下
鉛	0.01 mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下
六価クロム	0.02 mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
砒素	0.01 mg/L以下	チウラム	0.006 mg/L以下
総水銀	0.0005 mg/L以下	シマジン	0.003 mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02 mg/L以下
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	検出されないこと	ベンゼン	0.01 mg/L以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下	セレン	0.01 mg/L以下
四塩化炭素	0.002 mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下	ふっ素	0.8 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ほう素	1 mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	1,4-ジオキサン	0.05 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L以下		

備考：海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川、海域名	朝見川			
環境基準点	藤助橋			
環境基準類型	C			
基準値	水素イオン濃度	6.5以上8.5以下		
	生物学的酸素要求量(mg/L)	5mg/L以下		
	化学的酸素要求量(mg/L)			
	浮遊物質(mg/L)	50mg/L以下		
	溶存酸素量(mg/L)	5mg/L以上		
	大腸菌数(CFU/100mL)			
	n-ヘキサン抽出物質含有量(油分等)(mg/L)			
	全窒素(mg/L)			
	全リン(mg/L)			

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

① ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

ダイオキシン類	1 pg-TEQ/L
---------	------------

② その他

5 周辺公共用水域の水質の現況及び排水の排出に伴い予測される  
周辺公共用水域の水質の変化の程度

(1)ー1 周辺公共用水域の水質の現況（河川域）

測定月日 令和6年 4月 ～ 令和7年 3月（ 12回 毎月1回程度）  
測定分析機関名 大分県

河川名	朝見川	測定点名	藤助橋
-----	-----	------	-----

採水月日	時刻	流量 (m <sup>3</sup> /日)	pH (-)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	n-Hex (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	
水 質 の 現 況	月 日												
		平均											
水 質 の 現 況	月 日												
		平均											
水 質 の 現 況	月 日												
		平均											
総平均			8.2	0.8	2.3	6		270		0.64	0.085	9.4	
将来水質				0.8	2.3	6		270		0.64	0.085	9.4	

測定点毎に用紙をかえること。

(2)ー1 その他当該水域に関する事項

(3) 予測の方法

- ① 汚濁負荷量の増加の有無（有・無）  
（ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は②③を省略する）
- ② 排出水の公共用水域での影響範囲  
（河川域）

（海 域）

新田式  $\log\left(\frac{r^2\theta}{2}\right) = 1.226 \log Q + 0.086$  から求めた周辺公共用水域の外縁までの  
距離 (r) は \_\_\_\_\_ m \_\_\_\_\_ です。

$\theta = \pi$  (拡散角度：ラジアン、半円に一樣に拡散する場合は  $\theta = \pi$ )  
 $Q =$  \_\_\_\_\_  $\text{m}^3/\text{日}$  (最大排水量)

③-1 予測の手法 (河川域)

$$S' = \frac{S \cdot Q + (S_o \cdot Q_o - S'_o \cdot Q'_o)}{Q + (Q_o - Q'_o)} \text{ から将来の水質を予測すると}$$

地点名 ( )

$$S'(BOD) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(COD) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(SS) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(T-N) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(T-P) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

地点名 ( )

$$S'(BOD) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(COD) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(SS) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(T-N) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(T-P) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

地点名 ( )

$$S'(BOD) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(COD) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(SS) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(T-N) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

$$S'(T-P) = \frac{\cdot + ( \cdot - \cdot )}{+ ( - )} =$$

③-2 予測の手法 (海域)

$$\text{ヨーゼフ・ゼンドナー式 } C = 1 - \exp\left\{-\frac{Q_0}{\theta \cdot d \cdot p} \left(\frac{1}{x} - \frac{1}{\ell}\right)\right\}$$

から求めた希釈率Cは次の通りです。

$$C \text{ ( } r/3 \text{ の地点) } =$$

$$C \text{ ( } 2r/3 \text{ の地点) } =$$

- (注)  $Q_0 =$   $\text{m}^3/\text{日}$  (範囲の決定に用いた排水量)  
 $\theta =$  (拡散角度: ラジアン)  
 $d = 2 \text{ m}$  (排水水の混合層厚、原則として2mとする)  
 $p = 864 \text{ m/日}$  (拡散速度、原則として864m/日とする)  
 $x =$   $\text{m}$ 、  $\text{m}$  ( $r/3$ 、 $2r/3$ の距離)  
 $\ell =$   $\text{m}$  (排水口から周辺公共用水域外縁までの距離)

$S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$ から将来水質を予測すると

$r/3$ の地点

$$S'(COD) = \quad + \left( \quad - \quad \right) \cdot \quad =$$

$$S'(SS) = \quad + \left( \quad - \quad \right) \cdot \quad =$$

$$S'(T-N) = \quad + \left( \quad - \quad \right) \cdot \quad =$$

$$S'(T-P) = \quad + \left( \quad - \quad \right) \cdot \quad =$$

$2r/3$ の地点

$$S'(COD) = \quad + \left( \quad - \quad \right) \cdot \quad =$$

$$S'(SS) = \quad + \left( \quad - \quad \right) \cdot \quad =$$

$$S'(T-N) = \quad + \left( \quad - \quad \right) \cdot \quad =$$

$$S'(T-P) = \quad + \left( \quad - \quad \right) \cdot \quad =$$

6 その他当該特定施設の設置等が環境に及ぼす影響についての  
事前評価に関し参考となるべき事項

※必要に応じて下記の内容を記載すること

- ・スラッジの処理方法
  - ・底質等の調査結果
  - ・上水道その他の取水源位置との関係
  - ・漁業権との関係
  - ・自然環境保全地域との関係
- など